

週報



<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ
～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 希望の主と共に歩む

<聖句>ローマの信徒への手紙15章13節

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる
喜びと平和とであなたがたを満ちし、聖霊の力によって
希望に満ちあふれさせてくださるよう。

◀神戸教会は2020年に宣教開始70周年を迎えました。▶

「イエス・キリストの御言葉に生きる」

先週4日は神戸教会の伝道開始でした。シェラー先生が来神されてから73年目の歩みに踏み出します。これまでの恵みと守りに感謝すると共に、これからの歩みの導きを祈り求めましょう。

「見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み。なんという喜び。」この詩は、離散したイスラエルの人々が年に一度それぞれの場所から主の神殿に集い、お互いの無事を確認し、主の守りと恵みに感謝をする再会の時の喜びを歌っています。喜びの背後には苦難の日々があります。しかし、困難を耐え忍び歩いてきているからこそ兄弟姉妹との再会はひとしお喜ばしく、互いに励まし合う時となるのです。そんなイスラエルの人々の生活の根底にあったものが神への信仰でした。一方テモテへ宛てて書かれた手紙にはこうあります。「だれも健全な教えを聞こうとしない時が来ます... (中略) ...しかしあなたは、どんな場合にも身を慎み、苦しみを耐え忍び、福音宣教者の仕事に励み、自分の務めを果たしなさい。」福音から離れることは簡単です。世の流れに身を任せればよいからです。でもそれは真理から耳を背け、作り話(空想話、伝説)に逸れていくことでしかありません。そしてそれは「罪(的外れな生)」そのものです。「キリストの健全な教え」とは、あなた個人のいのちの守りのために、イエス・キリストが十字架に架けられて死に、しかし神によって復活させられたという愛にこそあります。だから私たちは神にあって感謝し、同じく神に愛されている隣人と共に生かされていくのです。

【西脇慎一】

日本バプテスト連盟

神戸バプテスト教会

牧師 西脇慎一

〒650-0003 神戸市中央区山本通1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: kobe-church.com

事務局Eメール: jimukyoku@kobe-church.com

主日礼拝	毎日曜日	午前10:30~11:45
共育のひろば	毎日曜日(第3週除く)	午前11:45~12:40(次回は9/11です。)
	(幼児クラス・小学生クラス・中高生クラス・成人クラスA・B・C)	
幼稚園C・S	毎日曜日	午前 9:00~10:20(9/4,11,25 予約制)
ひまわりひろば	毎日曜日	午前 9:00~10:20(9/4,11,25 予約制)
月曜ひろば	第1・3月曜	午前10時~11時(祝日はお休みです 次回は8/1)
祈祷会	毎水曜日	午後 7:00~ 8:15
	第2・4水曜	午前 10:30~12:00(当面お休みです)

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入など、
ご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

◆朝 10 時と夜 8 時に共にお祈りの時を持ちましょう。

- 1、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束に向かいますように。
- 2、感染した方々の癒しとご家族の守りと、緊張とストレスの中、診療に当たられている医療従事者を始め、福祉職の方々、人々の日常生活を支えている多くの方々の守りのために。
- 3、コロナ禍で経済的な困難の中にいる個人事業主、非正規雇用の方々の守りのために。
- 4、子どもたちの心の守りと成長の祝福。そしてご家庭の守りのために。
- 5、光の丘幼稚園の園児・保護者・教職員の守りのために。主の守りと導きをお祈りください。
- 6、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 7、ミャンマー、イスラエルとパレスチナ、アフガニスタン、ウクライナとロシアの市民のいのちと守りのために。すべての人々のいのちが尊重される自由と平和が実現しますように。
- 8、新たな牧師招聘のために、また牧師招聘委員会の働きのために。(アンケートの協力に感謝です)
- 9、新会堂建築計画の守り。会堂建築委員会のお働きのために。
- 10、これからの神戸教会のために。教会員が共に語り合い、主の御心を求めることができますように。

【連盟・連合・他教会の祈り】

◆日本バプテスト連盟の全国 317 の教会・伝道所のために。特に連盟の機構改革のために。また、連盟の天城山荘の今後について最善の道が示されますように。

◆関西地方教会連合の36教会のために。特に無牧師の神戸新生、奈良、浜甲子園、鳥取。休会中の神戸国際、大阪旭のためにお祈りください。

交読 主への信頼 詩編27編1〜6節

主はわたしの光、わたしの救い

わたしは誰を恐れよう。

主はわたしの命の砦、

わたしは誰の前におののくことがあるう。

さいなむ者が迫り、わたしの肉を食い尽くそうとするが、

わたしを苦しめるその敵にこそ、かえって、よろめき倒れるであろう。

彼らがわたしに対して陣を敷いても、

わたしの心は恐れない。

わたしに向って戦いを挑んで来ても、

わたしには確信がある。

ひとつのことを主に願ひ、それだけを求めよう。

命のある限り、主の家に宿り、

主を仰ぎ望んで喜びを得、

その宮で朝を迎えることを。

災いの日には必ず、主はわたしを仮庵にひそませ、

幕屋の奥深くに隠してください。

岩の上に立たせ、群がる敵の上に頭を高く上げさせてください。

わたしは主の幕屋でいけにえをささげ、

(一回) 歓声をあげ、主に向かって賛美の歌をうたう。